



おすめスポット
 浮島・青木・江上校区
 ・法林寺宝篋印塔
 ・牛木神社石造六地藏塔
 ・殿島神社
 ・坂本神社
 ・平野板碑
 ・九品寺跡
 ・東江上城跡

浮島・青木・江上校区文化財イラストマップ

19	伝・江上三郎墓所	中世	祠に石造物が安置されています。
20	西江上城跡	中世	弟・江上三郎忠種の城館跡といわれています。
21	東江上城跡	室町時代	城跡の面積は4畝21歩。兄・江上四郎種冬の城館跡といわれています。
22	馬場遺跡	弥生時代	弥生土器などが散布しています。
23	北ノ屋敷遺跡	中世～江戸末	戦国末から江戸初期の堀に囲まれた屋敷跡や井戸、掘立柱建物などが確認されています。
24	揚田地蔵	江戸時代	江上・八院合戦の戦死者を吊つために建立されました。ほ場整備により移動しています。
25	筒江遺跡	弥生時代	弥生土器・土師器などが散布しています。貝塚があったともいわれています。
26	山ノ下遺跡	弥生～	弥生土器などが多数散布しています。
28	平野板碑	中世～	板碑2基、一石五輪塔1基が集積されています。
29	九品寺跡	室町時代	豊饒永源により創建され、寺田が寄進されました。後に田中吉政により寺田は没収されましたが、九品寺は門徒により守られました。

■貴重な指定文化財たち■

No.	遺跡の名前	遺跡の時代	こんな文化財です
15	法林寺宝篋印塔 (県指定)	有形文化財 (昭和52年4月9日指定)	もとは、下林天満宮境内にありましたが、明治の神仏分離に際してこの地に移されたようです。記銘は無く、製作時期は不明ですが、全体の形状から室町期の建立と考えられます。
27	牛木神社の石造六地藏塔 (市指定)	有形民俗文化財 (平成9年10月1日指定)	寄進・紀年銘などは不詳ですが、天正年間(1573～1590)の製作と推定され、全体的に中世期末に見られる特徴を備えています。

■浮島・青木・江上校区の歴史年表■

時代	西暦	浮島・青木・江上校区のできごと	日本のできごと
旧石器	20000	八女丘陵で打製石器が使用される	狩り・漁労・採集等で生活する
	10000	筑後川流域に沖積平野が形成される	土器や弓矢を使い始める 日本列島がほぼでき上がる
縄文	紀元前		稲作が伝わる
	紀元後	上青木北大門遺跡に集落が営まれる 能保里貝塚周辺に集落が営まれる	倭国大乱 卑弥呼が邪馬台国を治める 古墳がつくられ始める
弥生	200		
	300		
古墳	500		筑紫君磐井の乱(527) 仏教伝来(538)
	600	下青木付近に古墳が造られる	群集墳が盛んに造られる 乙巳の変(645) 白村江の戦いで大敗北(663)
飛鳥	700	筑紫大地震で筒江が埋まったと伝えられる	筑紫大地震(679) 筑後国府がつくられる 平安京に都を移す(710) 筑後国分寺がつくられる 平安京に都を移す(794)
奈良			
平安	1100	三瀬荘に江上の名がみえる	
	1300		鎌倉幕府の成立(1192)
鎌倉	1400		室町幕府の成立(1336) 応仁の乱(1467)
		江上城が築城される	
安土桃山	1600	江上南上に西法山九品寺を創建する 江上・八院一帯で激戦 菊池十左衛門、筑後川中州を開拓	豊臣秀吉の天下統一 江戸幕府の成立(1603)
江戸	1800		明治維新(1868)
	1900		
明治以降	2000	平成の大合併により久留米市と合併	平成の大合併(2005)